



北星中学校の文化祭 手話歌交流 全校手話復活!!



緊張する3人 ↑

聾学校生徒会長挨拶 →



9月18日（木）に北星中学校の文化祭があり、中学生同士の手話歌交流を行いました。今年は、コロナ禍以来、全校生徒による手話歌が復活し、とても感動的なイベントになりました。

6月の末から総合的な学習の時間や音楽の時間を使って取り組んできた手話歌ですが、歌の歌詞を手話にしたときにどのような表現にしたら良いかについて本校の生徒たちが考え、7月10日に実施した「手話歌学習会」で北星中学校の生徒会の皆さんに伝え、ゲームをして親睦を深めました。

本日の発表がはじまる前に、生徒会の皆さんがやってきて、「緊張する3人」と一人ずつ握手をしてくれました。これで、みんなのやる気が増したか、緊張が増したか……。嬉しそうでした。

文化祭は、生徒会が制作した音楽付の映像（動画）で皆さんの気持ちが盛り上がったところで、手話歌交流となりました。

はじめに、本校の生徒会長から、「皆さんおはようございます。・・・私たち3人は一生懸命手話表現を考えました。・・・このふるさとを通して、皆さんのいろいろなふるさとをイメージして欲しいです。そして皆さんが手話を覚えてくれると嬉しいです。一緒に楽しみましょう。」と挨拶しました。終わると生徒と一緒に緊張していた私もほっとしました。立派だったと思います。

北星中の吹奏楽部の演奏で手話歌を歌いました。ステージ上で手話付で歌っている皆さんから目を落とし、体育館の後ろの方まで見渡すと全校生徒が手話付で歌っていました。とても壮観な眺めで感動的でした。北星中の校長先生に伺うと、生徒会の皆さんが覚えてきた手話表現を動画にし、各クラスで練習に取り組んでくれたのだそうです。コロナの影響で対面交流ができなくなった時からなくなっていった「**全校による手話歌が復活**」したのです。このことは、お互いを理解する気持ちと、長年の取組があっただけでできたことだと思いますので、一度なくなってしまったものは復活できないのではないかと考えていました。旭川聾学校サポーターズに登録してくれた北星中学を卒業した御子息をおもちの方は、コロナ禍に卒業したらしく、全校の手話歌交流をお子さんにも体験させたかったとおっしゃっていました。本当に価値ある取組の復活に感謝です。